

厚岸町海事記念館通信

発行 厚岸町海事記念館

〒088-1151 厚岸町真栄3丁目4番地

TEL & FAX 0153-52-4040

edu.town.akkeshi.hokkaido.jp/kaiji

No.49

2016年9月発行

厚岸町海事記念館こどもクラブ

だより

海事記念館こどもクラブは今年度で4年目となりました。この1年間、14名の仲間とともに厚岸町内の散策や科学体験などを通じて様々なことを学んでいきたいと思います。

5月のオリエンテーションはおさかなビンゴでみんなと楽しく交流しました。

6月は別寒辺牛川でカヌー体験！ 強風で思い通りに進めないところもカヌーの面白いところですね。自然を満喫しました。

7月は厚岸町郷土館周辺で歴史探訪。郷土館にある江戸時代の資料を見たり、隣接する国泰寺の境内や本堂内を見学させてもらったりして昔の厚岸をみんなで学びました。本堂に掛けてあった地獄の絵はとても怖かったですね。



オリエンテーション



カヌー体験



歴史探訪

☆アッケシソウ栽培日誌☆

今年のアッケシソウは初めての試みとして、昨年栽培したアッケシソウをそのまま越冬させたところ、4月8日には一部のプランターで発芽が確認されました。6月30日には密集しすぎているものもあり、プランターの半分を間引きして推移を見守っています。当初から水道水（時に市販の液肥を混合）を与えていましたが、他の植物の繁殖を抑えるため、海水も散布しています。8月30日には、20cmの高さに生長したものも見られるようになりました。

また、郷土館前で栽培しているものも順調に生育していますので、ぜひ見に来てください。

なお、今年から味覚ターミナル・コンキリエでも栽培をしていますので、ぜひご覧ください。

海事記念館前の町民広場に植えられている村山市からの「友好のバラ」。今年は土を起こし、肥料を撒くなど例年以上に力を入れて育成、7月の上旬には綺麗な花を咲かせました。バラは11月頃まで咲きます、ぜひ一度ご覧ください♪



厚岸町の文化財を見学『ふるさと教室』

5月28日（土）に『ふるさと教室』を実施、厚岸町内にあるチャシ跡（昔の砦跡など）や竪穴（住居などを建てるために地面を掘った跡）群を見学に行きました。厚岸町には国や北海道、町が指定した文化財が多くあります。今回はその中でも皆さんの身近にある住の江やお供山の遺跡を学芸員が解説しました。現地には地面を掘って建物を建てていた跡があり、その形状などで時代や生活スタイルを知ることができます。

当日は天候にも恵まれ、お供山展望台から望む厚岸はすばらしい景色でした。



近くて遠い島“大黒島”の観察会を実施

昨年は悪天候のため中止となった『天然記念物大黒島海鳥繁殖地観察会』ですが、今年度は北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所の協力の下、6月4日（土）に実施しました。今年も天候が悪く雨の中の開催となりましたが参加者14名と多くの参加をいただきました。大黒島は海鳥の繁殖地として国の天然記念物として指定されるなど、貴重な動植物が生息し『生きた博物館』と言われています。今回は北海道大学教授仲岡雅裕氏に大黒島の自然について解説いただきました。参加者からの質問の一つひとつ丁寧に答えていただき大変有意義な事業となりました。



3 町村の共演！『ファイnderの記憶』

6月11日から7月10日まで、海事記念館1階ホールにおいて写真展を開催し、390名と多くの観覧者が来場しました。今年も厚岸町の映像集団「光風」、弟子屈町の「フォト仲間」、鶴居村の「鶴居タチョウサークル」のご協力により、素晴らしい写真の数々を展示することができました。観覧者は、「自分には撮れない」、「どうやって撮るのか」と感嘆の声をあげていました。



山形県村山徳内まつり振興会が厚岸を訪問

厚岸の夏を彩る「あつけし夏まつり」。今年も、7月2日（土）、3日（日）の日程で開催され、多くの町民、観光客が訪れました。特に夏祭りの夜を盛大に彩る「山車の競演」には、山形県村山市から村山徳内まつり振興会のみなさんが特別参加しました。村山市は厚岸町と友好都市の盟約を結んでおり、現在の村山徳内まつりで披露される「徳内ばやし」は平成6年に村山市の有志が厚岸から講師を招いてお囃子を学んだことによるとも言われています。今回の夏祭りには、村山市から踊り手とお囃子方、山車の引き手を合わせて約50名が来町しました。祭り初日はあいにくの空模様でしたが、最終日には天候にも恵まれ、沿道を埋め尽くした観衆の面前で村山徳内ばやしが披露されました。急遽、沿道の人も飛び入り参加して一緒に踊るなど、村山と厚岸が一つになった瞬間でした。

さて、振興会のみなさんは、今回の訪問に際して、7月3日、厚岸神社社殿前において奉納の演舞を行いました。また、参拝後には神社社務所前にて海事記念館の学芸員を講師に、江戸時代の北方探検家で、現在の村山市楯岡で生まれた最上徳内と厚岸との関わりと、徳内ばやしと厚岸の獅子舞とのつながり、そして、厚岸町と村山市との友好の歴史について勉強会を開きました。振興会の皆さんが学芸員の説明に真剣に耳を傾けている姿が印象的でした。



村山と厚岸の子どもたちが厚岸神社・神明宮跡を見学

今年も友好都市子ども交流事業が実施されました。この事業は、友好都市子ども交流事業実行委員会の主催で、友好都市である山形県村山市と厚岸町の子ども達が、お互いの地域の風土や文化に触れ、野外活動交流をとおして子ども達の感性を育むことを目的に、平成12年度から実施しているものです。

今年7月26日（火）から29日（金）の日程で、村山市の子ども達が厚岸を訪れました。子ども達は、別寒辺牛川でカヌーをしたり、バラサン岬で地引網漁を体験したりと、厚岸の自然を楽しんでいました。

海事記念館学芸員も、友好都市の歴史や、そのきっかけとなった江戸時代の北方探検家、最上徳内の業績、村山市の自然や文化などを学ぶ学習会の講師として参加しました。また、学習会の翌日には、村山市と厚岸町の子ども達全員で、最上徳内が寛政3年（1791）にバラサン岬の麓に建立した神明宮跡を実際に見学しました。みんなで現地に立ち、江戸時代、最上徳内翁が何を胸に秘め、ここ、蝦夷地、アッケンにやってきたのか、子ども達と一緒に考えました。



「とこたん博物館」が充実!!

厚岸町立床潭小学校は、平成29年3月31日を最後に学校の歴史に幕を下ろします。現在、床潭小学校では、その歴史を後世に残そうと、床潭地区の皆さんの協力を得ながら、「とこたん博物館」（小学校の空き教室を利用）の充実を図っています。

床潭小学校内に設けられた「とこたん博物館」は、床潭地区と小学校の歴史を同校の先生が企画し、展示しているものです。その入口には、昔の床潭地区の風景や漁村の暮らしぶりなどを古い写真を交えながら紹介しています。壁一面には、卒業した児童のクラス写真やクラブ活動の様子などを写し出した写真が貼られています。また、地域の人々が持ってきてくれた長さ10mを超える昆布（ナガコンブ）を見ることができます。

展示室に入ると、漁業に関する資料や授業の始めと終わりに鳴らした鐘など学校関係の資料が展示されています。海事記念館からも潜水漁で使用した潜水カップを貸し出しています。また、児童達が活躍した運動会や球技大会など、床潭小学校が栄冠に輝いた歴史を表彰状などを交えて紹介しています。他に、珍しいものでは、平成27年2月に（独）産業技術総合研究所活断層・地層研究センターが床潭沼において、沼の底に残された津波の記録「津波堆積物」（過去の津波によって海から運ばれた砂や小石などからなる地層）を採取し、標本にしたものも展示しています。

なお、展示フロアは小学校施設内にあるため、自由見学にはなっておりません。見学を希望される場合は、必ず床潭小学校へご連絡ください。（TEL 0153-52-2409）また、授業や学校行事等により、見学できない場合もありますので、その際は、ご理解の程、よろしくお願いいたします。



厚岸の歴史を知ろう! 『文化財歴史講演会』

題目 『地域で物語
～史跡・重文に意味を読み解く～』

講師 釧路短期大学
教授 佐藤 宥紹 氏

日時 9月24日（土）
10:00～12:00

場所 本の森厚岸情報館

内容 厚岸町には国や北海道、町が指定した文化財が多くあります。皆さんの身近にも多くの文化財があります。この講演会ではそれら史跡や重要文化財の意味やこれから後世に伝えていくことの重要性について講演していただきます。



■本紙掲載の事業・記事についての問い合わせ・申し込みは、
海事記念館(Tel/Fax0153-52-4040) までお願いいたします。